

# 事業概要シート

施策 2301 地域コミュニティの活性化

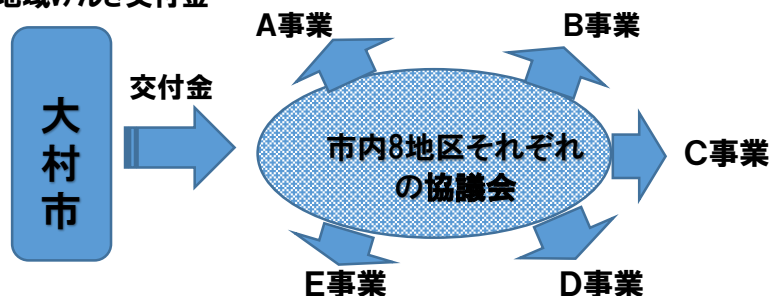
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。  
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	住民主導型地域活性化事業	その他の見直し	予算額	22,232 千円
			《 》千円	24,711 千円
事業期間	平成29年度 ~ 令和4年度	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	大村市地域げんき交付金交付要綱、大村市市民いきいき助成金交付要綱（要綱名称変更予定）		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	2,000 千円
			一般財源	20,232 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

(地域げんき交付金)  
 地域住民が自ら考え、自ら行う地域づくりの活動を支援し、市内8地区の地域づくりを推進するための組織へ交付する。なお、対象事業については、地域づくり組織が自主的に行う要綱に定める事業とし、ある程度の裁量を地域に委ねたものとなっている。  
 (市民いきいき助成金)  
 市民が活気と魅力ある地域の実現のために寄与できる事業を支援するために創設した、応募型の助成金であり、2人以上の団体及び法人が対象で、大村市内での事業実施を条件とし、審査会での審査をもとに採択事業を決定する。

## ○地域げんき交付金



交付金額内であれば、ある程度自由に決定できるよう設定しており、市内8地区のそれぞれの協議会で、どのような事業を実施するのかを検討してもらい、事業決定を行っている。  
 (※ただし、事業内容については要綱に沿った事業であることが条件となる。)

## ○市民いきいき助成金



大村市内で行われる活動(事業)に上限40万円として、事業経費の4/5以内の額を助成する。スポーツ大会やコンサート、講演会、歴史研究、賑わいづくりイベント等さまざまな活動が対象となる。

## 【背景】

地域げんき交付金については、各地区の様々な事業への取組のため、市内8地区及び大村市町内会長会連合会より継続の要望が出ており地域活性化には不可欠なものとなっている。また、市民いきいき助成金についても、市民協働の事業として、認知されてきており、継続の声が多くあるため、今後も継続を予定している。

担当課	地域げんき課	課長	中村 浩樹
担当者	松本 亘宏	問合せ先	0957-53-4111 (内185)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	各地区実績額（地域げんき交付金）	計画値 千円	18,939	20,000	20,000	20,000	20,000
②	申請件数（市民いきいき助成金）	計画値 件	14	17	20	20	20

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	各地区事業額実施率 （地域げんき交付金）	計画値 %	95	100	100	100	100
②	採択件数（市民いきいき助成金）	計画値 件	6	8	8	8	8

### 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	19,552	21,075	24,711	22,232	22,211	22,211	131,992
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	11,085	2,000	4,500	2,000			19,585
一般財源	8,467	19,075	20,211	20,232	22,211	22,211	112,407
人件費		3,120	3,122	3,122	3,122	3,122	15,606
職員(人)	0.36人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人	2.41人
時間外勤務(h)	64h	69h	70h	70h	70h	70h	413h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	19,552	24,195	27,833	25,354	25,333	25,333	147,598

妥当性 (市の関与)	地域げんき交付金は、地域課題の解決、コミュニティの育成、地域の活性化を推進するために実施しているもので、地域ではこの交付金を活用して、定着した事業が継続されている。住民の自主性だけでは成り立たない事業が多く、市が資金面で支援することで地域のコミュニティが生まれ、活性化に寄与しており事業の妥当性は高い。市民いきいき助成金は、住民活動を活性化することで、市全体の活力を高める目的があり、事業の妥当性は高い。
有効性 (施策貢献度)	それぞれの事業は、コミュニティや住民交流の活性化及び地域の課題解決等に寄与しており、市全体の活性化を推進していることから事業の有効性は高い。
効率性 (コスト)	企画される多くの事業は、地区の活性化協議会や市の審査会で取捨選択され、実効性のある効果の高い事業が実施されている。また、3年ごとに見直しを行うことで、無駄のない高い効果が見込まれる事業に予算が配分されるようになっており、効率よく運用されている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり